

2020年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 言語科学 全 11 枚のうち 1 枚目

この試験では、試験問題 11 枚、解答用紙 2 枚を配付する。

解答における注意

専門試験 言語科学の問題は下記の7つの出題範囲からなっており、この順番に並んでいます。
この中から志望する分野に応じて、ひとつの出題範囲だけを選択して解答してください。複数の出題範囲にまたがって解答してはいけません。問題の形式は出題範囲によって異なることがありますので、各出題範囲の指示に従って解答してください。

出題範囲

英語学

ドイツ語学・ゲルマン語学

フランス語学・ロマンス語学

ロシア語学・スラブ語学

言語学

国語学

日本語学

[英語学]

英語学の問題は「設問Ⅰ」と「設問Ⅱ」からなっています。各設問の指示に従って、両方の設問に解答して下さい。

設問Ⅰ（英語学）

1. 次の用語を英語の具体例を挙げながら日本語または英語で簡潔に説明しなさい。

- (1) coherence
- (2) allophone
- (3) X-bar theory
- (4) modality
- (5) transitivity

2. 医師が緊急救命室 (ER)に駆けつける場面を描いた次の英文を読み、下線部のような倒置文が生じているのはなぜかを情報構造の観点から日本語または英語で具体的に説明しなさい。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

(出典：Sidney Sheldon, *Nothing Lasts Forever*, Warner Books, 1995, pp.183-4、一部改変)

3. 次の日本語を英訳しなさい。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

(出典：山梨正明 (2019)『日・英語の発想と論理』開拓社、p.v)

設問Ⅱ（英語学）

次の英文を読み、以下の問いに答えなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

（出典：Ronald W. Langacker (2016) “Working toward a synthesis,” *Cognitive Linguistics* 27, p.468）

- 問1 下線(1)が指すものを本文中から抜き出ささい。
問2 下線(2)が表す考え方を一語で言うと何になるか？その語を本文中から探ささい。
問3 下線(3)を日本語に訳ささい。
問4 下線(4)を日本語に訳ささい。

[ドイツ語学・ゲルマン語学]

ドイツ語学・ゲルマン語学の問題は「設問 I」と「設問 II」からなっています。各設問の指示に従って、両方の設問に解答してください。

設問 I (ドイツ語学・ゲルマン語学)

次の問 1~5 からどれかひとつを選択して解答しなさい。

問 1 次のドイツ語の文章を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：Paul, Hermann. *Deutsche Grammatik. Bd. IV.* Tübingen: Niemeyer. 1968 (1920): 32

問 2 次のオランダ語の文章を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：Groot Nieuws Bijbel. Nederlands Bijbelgenootschap. Haarlem/Katholieke Bijbelstichting. 's-Hertogenbosch. 1999: 28f.

問 3 次のスウェーデン語の文章を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：Bibeln. Svenska Bibelsällskapet. Stockholm. 1982: 54

問 4 次のデンマーク語の文章を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：Bibelen. Det Danske Bibelselskab. København. 1998: 1069f.

問 5 次のノルウェー語の文章を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：Bibelen. Bibelselskapets Forlag. Oslo. 1987: 33

設問 II (ドイツ語学・ゲルマン語学)

次の問 1 と問 2 に日本語で解答しなさい。

問 1 「設問 I」の問 1~5 の文章からどれかひとつを選んで、冒頭の文を国際音声字母 (IPA) を用いて表記しなさい。必要に応じて、適宜、説明を加えてもかまいません。

問 2 ドイツ語の前置詞と後置詞について説明しなさい。

【フランス語学・ロマンス語学】

フランス語学・ロマンス語学の問題は「設問Ⅰ」と「設問Ⅱ」からなっています。各設問の指示に従って、両方の設問に解答してください。

設問Ⅰ（フランス語学・ロマンス語学）

以下の専門分野に関する問題1～3より1題を選択し、問題番号を明記の上解答しなさい。

1. 以下のフランス語の文章を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 Umberto Eco, 1994, *La recherche de la langue parfaite*, Éditions du Seuil, Paris, pp.51-52.

2. 以下のスペイン語の文章を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 Umberto Eco, 1994, *La búsqueda de la lengua perfecta*, Editorial Crítica, Barcelona, p.40.

3. 以下のイタリア語の文章を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 Umberto Eco, 1993, *La ricerca della lingua perfetta*, Editori Laterza, Roma, pp.41-42.

設問Ⅱ（フランス語学・ロマンス語学）

フランス語、スペイン語、イタリア語のいずれかの言語について、音韻的特徴を、対象とする言語で作文して説明しなさい。なお、説明にあたっては、具体的な例を提示すること。

〔ロシア語学・スラブ語学〕

ロシア語学・スラブ語学の問題は「設問Ⅰ」と「設問Ⅱ」からなっています。各設問の指示に従って、両方の設問に解答してください。

設問Ⅰ（ロシア語学・スラブ語学）

次の問1または2からひとつを選択して解答しなさい。

問1 次のロシア語の文章を日本語に訳しなさい。

*** 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。**

出典：Виноградов, В. В. Русский язык (грамматическое учение о слове), М.: Высшая школа, 1972. С. 80

問2 次のブルガリア語の文章を日本語に訳しなさい。

*** 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。**

出典：Станков, В. Глаголният вид в българския книжовен език, София: Наука и изкуство, 1980. С.93

設問Ⅱ（ロシア語学・スラブ語学）

次の問1または2からひとつを選択して、日本語で解答しなさい。

問1 ロシア語における「数詞」について、その特徴を詳しく説明しなさい。説明にあたって、具体例を必ず提示すること。

問2 ブルガリア語における「後置冠詞」について、その特徴を詳しく説明しなさい。説明にあたって、具体例を必ず提示すること。

[言語学]

言語学の問題は「設問 I」と「設問 II」からなっています。各設問の指示に従って、両方の設問に日本語で解答して下さい。

設問 I（言語学）

次の韓国語の例文からうかがえるこの言語の時制・アスペクトについて自由に述べなさい。

（他言語にふれても構わない。）

- (1) tɕaknɕən·enun nun·i manhi nɛrj·əss·da.
 昨年-には 雪-が たくさん 降る-過去-終結語尾
 (昨年は雪がたくさん降った。)
- (2) nɛnɕən·e miguk·uro juhak·uɭ ka·nda.
 来年-に 米国-へ 留学-を 行く-終結語尾
 (来年アメリカへ留学に行く。)
- (3) ibən·enun tsʰəɭsu·do o·nda.
 今回-には チョルス-も 来る-終結語尾
 (今回はチョルスも来る。)
- (4) kojaŋi·ga tɕa·go iss·da.
 猫-が 寝る-て いる-終結語尾
 (猫が寝ている。)
- (5) na·nun meɭ jəsəs·si·e irəna·nda.
 私-は 毎日 六つ-時-に 起きる-終結語尾
 (私は毎日六時に起きる。)
- (6) uri·tɕip·madaŋ·esə pada·ga poi·nda.
 わが-家-庭-から 海-が 見える-終結語尾
 (我が家の庭から海がみえる。)
- (7) ədʒɛ·nun meɭ təw·əss·da.
 昨日-は とても 暑い-過去-終結語尾
 (昨日はとても暑かった。)
- (8) onuɭ·do meɭ tɕp·da.
 今日-も とても 暑い-終結語尾
 (今日もとても暑い。)

設問 II（言語学）

以下の用語・トピックのなかから5つ選び、説明しなさい。

- a. 連濁現象の例外
- b. 内的再構
- c. アクセントと声調
- d. 共鳴音と阻害音
- e. 音素と異音
- f. 類義語と多義語
- g. 語根と接辞
- h. 語順の種類

〔国語学〕

各設問の指示に従って、日本語で解答して下さい。

設問Ⅰ 次に掲げる1から4の事項について、それぞれ簡潔に説明しなさい。

- 1 候文 2 呉音 3 ヲコト点 4 風信帖

設問Ⅱ 村山実和子「接尾辞「ハシ（ワシイ）」の変遷」（『日本語の研究』第15巻第2号、2019年8月、参考文献は省略）は「ニツカワシ」「イカガハシ」等に用いられる接尾辞「ハシ（ワシイ）」の変遷を論じている。次の文章は其中で、「形容詞化接尾辞による派生」の消長を述べた一節である。これを読んで後の問いに答えなさい。

*著作権に配慮して、図版の転載を省略します。下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。出典：村山実和子「接尾辞「ハシ（ワシイ）」の変遷」（『日本語の研究』第15巻第2号、2019年8月）29ページ。

(A)

*著作権に配慮して、図版の転載を省略します。下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。出典：村山実和子「接尾辞「ハシ（ワシイ）」の変遷」（『日本語の研究』第15巻第2号、2019年8月）29ページ。

(B)

- 1 (A) の箇所には(22)の a から g までの接尾辞について、現代共通語における造語力と、中世以降における生産性に関する論述が入る。(22)の用例に即して、それらの造語力と生産性について説明しなさい。
- 2 (B) の箇所には(23)の a から d までの接尾辞について、語基に何をとりかという観点から、分析が述べられる。用例に即して a から d までの語基の特徴について説明しなさい。
- 3 上の例(22)(23)を通して接尾辞「ラシイ」は近世に形容詞を語基にとるようになるが、その造語法は勢力を持たず、近代以降は、新たな語を派生することはない。「ゲナ」「ソウダ」と関連させてその理由を述べなさい。

[日本語学]

日本語学の問題は「設問I」と「設問II」からなっています。各設問の指示に従って、両方の設問に日本語で解答して下さい。

設問I [日本語学]

問1 日本語のオノマトペ（いわゆる擬音語と擬態語の両方を含むものとする）について、下記の用語をすべてつかって説明して下さい。

【写像性，恣意性，共感覚メタファー，語彙化】

問2 日本語の動詞や機能形式を伴うものは類似していてもまぎらわしいことが多い。以下の各例文の下線部について、形態論・文法論・意味論の観点から説明して下さい。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| (1) 子供を寝か <u>せる</u> 。 | (6) *金属を溶け <u>させる</u> 。 |
| (2) 子供を寝 <u>させる</u> 。 | (7) 客を <u>帰</u> す。 |
| (3) 花子に服を <u>着</u> せる。 | (8) 客を <u>帰</u> らせる。 |
| (4) 花子に服を <u>着</u> させる。 | (9) 客を <u>帰</u> させる。 |
| (5) 金属を <u>溶</u> かす。 | |

設問II [日本語学]

問3 以下の用語・トピックのなかから4つ選び、日本語の例を挙げて説明して下さい。

- a. 主格対格交替
- b. 分裂形容詞
- c. 連想照応
- d. 忌避関係 (avoidance relationship)
- e. N型アクセント
- f. 複語尾
- g. シラビーム方言
- h. オーディエンスデザイン (audience design)
- i. 範列関係性(paradigmaticity)
- j. 受害構文